

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名	水と緑を守り育てていくまち
-----	---------------

施策番号・名	05	水と緑に親しめる空間の創造
--------	----	---------------

基本事業番号・名	05-01	ふれあいの機会の提供
----------	-------	------------

事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)	
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)		選択項目
05-01-01	環境政策課 みどりと公園担当	対象	市民、自然環境	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)
	湧水地調査事業	手段	水位観測	27 (個所)	湧水数	27 (個所)	新たに湧水保存台帳に整備された湧水個所	0 (個所)	228	282	510	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名: 環境政策課 林 幸雄	
		平成20年度	27 (個所)	平成20年度		0 (個所)		379	276	655	改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持	
		平成19年度	27 (個所)	平成19年度		0 (個所)		780	276	1,056	調査内容は専門的技術を要するものが多いが、民間レベルでも可能な調査内容等を精査し、コスト削減を検討する。	さらなるコスト削減は難しい状況となっている。事務事業は調査内容を含め継続実施するが、調査内容等の精査を加えた上で市民、団体の理解と協力によるコスト削減は引き続き模索する。			
意図	市民の生活環境の中にある水と緑を減らさないようにする。														
05-01-02	施設管理課 道路河川施設担当	対象	市民	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)
	いこいの水辺事業	手段	河川管理者(東京都)との河川維持業務の委託に関する協定に基づく河川区域内の清掃、除草、植栽管理及び軽微な補修	23,341 (㎡)	いこいの水辺面積	13 (回)	植栽地の草刈及び除草回数	13 (回)	15,983	2,208	18,191	22年度以降に向けた方向性	アウトソーシング	所管課長名: 施設管理課 古澤毅彦	
		平成20年度	23,341 (㎡)	平成20年度		11 (回)		14,014	2,163	16,177	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持	
		平成19年度	23,341 (㎡)	平成19年度		14 (回)		15,087	2,157	17,244	河川管理者(東京都)との協定に基づき事業を執行しているため、事業内容等の改善するよりも、事業費に対する補助金額を増額するよう要望すべきであり、事務事業としては今後も存続する必要がある。	身近な河川を観察し、市民を交えた行き届いた河川管理を実施する必要性から廃止することは難しい。事務の開始以来、河川管理者(東京都)の補助(100%)を受けて執行し、既に外部委託を行っている。			
意図	・河川敷を安全、快適に利用してもらう														
05-01-03	環境政策課 みどりと公園担当	対象	圏域住民	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)
	多摩六都課題共有事業	手段	ウォッチングウォーク	1 (回)	ウォッチングウォーク開催回数	242 (人)	ウォッチングウォーク参加申込者数	64 (人)	143	201	344	22年度以降に向けた方向性	休止	所管課長名: 環境政策課 林 幸雄	
		平成20年度	1 (回)	平成20年度		210 (人)		84 (人)	195	198	393	改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	休止
		平成19年度	0 (回)	平成19年度		0 (人)		0 (人)	0	0	0	ウォーキングコースの設定などに改善の余地がある。多摩北部都市広域行政圏協議会事業であり、5市が持ち回りで実施。	平成22年度及び平成23年度は西東京市が担当である。		
意図	緑と水の豊かな自然を再発見し、自然を慈しむ機会としてコースを設定して歩く。														